

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NSC-137

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	wCBDCA + wPTX concurrent RT	42日間	1コース	<input checked="" type="checkbox"/> 局所進行 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 28: 3739-45, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day													
					1	8	15	22	29	36	42							
①	デキサート ファモチジン ボラミン 生理食塩液	6.6mg 20mg 5mg 50mL	点滴静注	30分	↓	↓	↓	↓	↓	↓								
②	パクリタキセル 生理食塩液	40mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓	↓	↓	↓	↓	↓								
③	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 2 100mL	点滴静注	30分	↓													
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓	↓	↓								
上記、Concurrent chemoradiotherapy終了3-4週間後、Consolidation phase chemotherapy^ CBDCA (AUC 5、Day1) +PTX (200mg/m <sup>2</sup> 、Day1)、q3w×2cycles																		

<注意事項/備考>

- ✓ PTX：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与、DEHPを含まない輸液セット使用
- ✓ PTX：ポリオキシエチレンヒマシ油によるアレルギー発現に注意
- ✓ 末梢神経障害（PTX）：四肢の知覚異常が主体、疼痛を伴うこともあり
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
- ✓
- ✓